|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(14)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2024年4月6日　週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教  ペリシテを見た産業人(Ⅰサム 1:9-11) | △レムナント伝道学  まず私の中に主のやぐらを  (創 1:27, 2:7, 2:18) | | △核心  主のやぐらを先に建て、主が見張り人にならなければ  (イザ 62:6-12) | | △散らされた弟子たち  非対面レムナントのやぐら(ルカ 23:28) |
| □序論\_契約に従って行く道  14代の士師を過ぎて、続けてペリシテに苦しめられている。士21:25それぞれが自分の目に良いと見えることを行っていたので、死ぬほど苦労する。私たちは御座のやぐらが背景にあるので、別の道に行ってはならない。すると、道をどのように見つけるのか。  1.荒野40年-間違った考えを持っているほとんどの人は、カナンに入れなかった。出エジプトは神様のみこころ。荒野で神様が導くと約束された。  2.強大国-暗闇を止める薬をイスラエルに与えられたが、主、メシア、キリストは、自分たちだけのことであると、強大国に伝達しないならば、滅ぼされて当然だ。  3.力がなくて奴隷に行った。そこで福音を伝えないと戦争、捕虜、属国、後ほど流浪の民、すべて起こった。ただ世界福音化は、この時に起きた。  □本論  1.ペリシテの背景(言い訳)  1)イスラエルが力がなくて、2)福音が刻印されなくなっていて  3)宣教をよく知らずにいる。  2.ハンナ  1)Iサム1:9-11正しい祈りを始めた。「ナジル人を与えてください」直ちに答えの門が開いた。  2)Iサム3:1-19(祈り)生まれて神殿にいるようになったサムエルの考えと祈りは完全に違った。主はサムエルのことばを一言も地に落とされなかったし、イスラエルと神殿である教会が、全く別の道に行っていることを見た。  3)契約の箱、Iサム7:1-15契約の箱事件を分かったので、ミツパ運動を開いた。初めてペリシテが問題でなく、イスラエルの問題であることを悟った。  3.ダビデ  1)Iサム17:18エッサイがダビデをお使いに送って、しるしを持って来なさいと言ったが、そこでゴリヤテのことばを聞いた。  2)Iサム17:19-28兄たちは怖くなって隠れていて、戦うというダビデの悪口を言った。その時ダビデは「私がどうして理由がないでしょうか」と話した。  3)Iサム17:35-47ダビデは王に「主は私を獅子と熊から救い出してくださったが、主をそしる者の手から私を救い出されることを信じる」と言った。ゴリヤテに「おまえは、剣と槍と投げ槍で向かって来るが、私はおまえがそしる主の御名で立ち向かう」と言った。  □結論\_ヨーロッパ福音化は御座のやぐら、御座の旅程、御座の道しるべによってだけ可能だ。私たちではなくてはならない理由。この時のために私を呼ばれたことを見つけ出せば、答えが見える。 | □序論  祈るたびに必ず参考にしなければならないのはレムナント7人に与えられたことだ。  □本論  1.何をまず先に建てるべきか  1)創37:1-11ヨセフ中に世界福音化のやぐらが建ったのだ。  2)出2:1-10モーセが幼い時に作られた。  3)Iサム1:9-11 (ナジル人)サムエルは母親の胎の中にいた時から、すでにこのやぐらが刻印された。  4)Iサム17:18エッサイがお使いに出して、しるしを持って来なさいと言った。先進国とイスラエルの教育方法だ。ダビデは王になるために油を注がれて、その身分で行ったのだ。私たちは霊的に戦う王の身分を持って行くのだ。  5)イザ6:1-13イザヤに神様は「あなたではなく、切り株、レムナントが起きなければならない」と言われた。これを知った人々が、働きを起こした。  6)ダニ1:8-9心を定めたので、当然、答えが来る。  7)ヨハ21:15-18イエスが３度も「子羊を飼いなさい」と言われた。ここにすべての答えがみな入っている。私たちが築く神様のやぐらは、次世代のためのものだ。  2.どこに建てなければならないのか  1)創1:27私のいのちと  2)創2:7私のたましい、  3)創2:18私の生活の中に  △これを祈れば癒やしが起こり、力も生じる。  3.どのように建てなければならないのか  目に見えない聖霊の働きによって、目に見えないネフィリムの働きを押し倒す。  □結論  Ⅱコリ10:1-5私の中にサタンのやぐら、強い要塞、私の考えの要塞を押し倒す。そして、答えの門が開かれるしかない働きが始まるのだ。 | | 私は一日中安らかに吸い込む時は7・7・7を活用する。息を吐き出す時は、私が行かなければならない目的地、集会、人を祈る。そのとき、いくつかのことは、必ずすべきだ。私の運命、家系のやぐらを変えなければならない。  皆さんの教会が門を閉ざした教会を生かすことができるほど、教会のやぐらを新しくしなければならない。皆さんの職業が世界福音化することができるように、職業が世界化されなければならない。237-5000種族の次世代を生かすことになる。これを続けて祈りなさい。  □序論  1.見張り人がなければならない。  1)エゼ3:18-20すべてが聞くようにする見張り人  2)イザ62:6-12主が休まないようにさせる24、25、00の祝福を味わう見張り人  3)Iペテ2:9光を現わす見張り人  2.やぐらが必要(私の中に、教会、現場に)  3.内容  1)人々が来るしかないプラットフォーム  2)その光を見て死んでいく人々が来て、いのちを得る見張り台  3)霊的に、世界的に、御座で疎通する力ができるアンテナ  □本論\_どのように  1.主の契約を正確に握りなさい。  1)創37:1-11、41:38世界福音化の契約を握ったヨセフを導かれた主  2)出3:1-20出エジプト、血のいけにえを献げると話しなさい。力の手であなたとともに  3)Iサム3:1-19契約の箱のそばに横になっていたサムエルに、御声を聞かせて祈りを聞かれた神様  4)Iサム16:13正確な契約を握った後に、主の霊が激しく下ったのだ。  5)Ⅱ列2:9-11二倍の霊  6)イザ6:1-13レムナント運動  7)使9:15ユダヤ人とイスラエルと異邦人と王の前に立てる選びの器  △この祈りは、重要なことを始める時にするのが良い。パウロは主の契約が確かに私を支配する時まで断食して、夜に寝ず、マルコの屋上の部屋に臨んだそのまま臨むように待った(使13、16、19章)  2.主-私の見張り人  1)御座のやぐらが私の中に　2)旅程のやぐら　3)道しるべのやぐらを建てなさい。  3.主が私の未来を守る見張り人  1) 237-5000種族が起きるようになる。  2)使19:21(23:11)、27:24ローマ、カエサル  3)ロマ15:23イスパニア  △主の契約が私のやぐらで、主が私の見張り人で、私の未来が主の手にあるのだ。これを置いていつも祈り始めなさい。 | | 世界福音化するには対面教会と非対面教会の同行だ。  非対面時代は、おもにメディアだ。  コンセプト、コンテンツ、システムによって、世界を動かす。  1.どんなメッセージを準備すべきか  申6:4-9荒野で「今まであったことを刻印させなさい」「ミツパに集まりなさい。主に立ち返りなさい」戦わずに勝つドタンの町運動。主によって世界を動かす見張り人運動。そして、レムナントの会堂運動、金土日時代運動を逃してはならない。  2.使17:1、18:4、19:8  特に対面、非対面を置いて作るべきやぐらは、祈りでわざわいを止めて、原因を解決するキリスト(使17:1)、祈りですべてのやぐらを建てる奥義(使18:4)、まことの答え、神の国のこと、神の国(使19:8)だ。  3.未来を備える対面、非対面教会と産業  これからの時代は、することではなく、成ることを作って、来るようにさせること。いのち(光)があるので、来るようになる。三つの庭と、金土日時代は来るようにさせること。驚くべき癒やしの働きが起こるようになるだろう。 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(14)　 (社)世界福音化伝道協会　[www.weea.kr](http://www.weea.kr) | | | | | |
| 2024年4月7日　週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ第14週  父なる神様と永遠の答え(Ⅰサム 7:1-15) | | △聖日１部  暴風にあった時代(使 27:24-25) | | △聖日２部/長老会 献身礼拝  237-5000 を生かす人々(ロマ 16:25-27) | |
| 父なる神様(みことば)、子なる神様(救い)、聖霊なる神様(力)は三位一体だ。  □序論\_契約の流れ  1.マタ16:13-20旧約聖書はキリスト送るという約束だ。そのキリストが「人々がわたしをだれだと言いますか」と尋ねられた。ペテロが答えたとき、すばらしい祝福を話しながら、だれにも話してはならないと言われた。まだ悟れていないためだ。  2.マタ17:1-9変貌山で見たモーセとエリヤも、来られるキリストを信じて救われた。  3.ヨハ19:30イエスが完了したと言われ、  4.使1:1-8復活して弟子をオリーブ山に呼ばれた。  5.使2:1-47約束された聖霊の働きが起きた。マルコの屋上の部屋教会だ。  6.使11:19-30ステパノの迫害によってできたアンティオキア教会に、神様は世界宣教のためにパウロを送られた。  7.使13:1-4宣教地に出て行こうとした最初の日、聖霊の導きを受けた。  8.使16:6-10マケドニアに行った。  9.使19:21ローマに  10.使28:30-31世界福音化するパウロがいる所では、だれも止める者はいなかった。  □本論\_神様のみことばは  1.いのちを生かす運動だ。エゼ37章に、干からびた骨が生き返った。エゼキエルが預言したみことばは、死んだ私たちの身分と権威を変える  2.癒やし運動(創1:27、2:7、2:18)だ。私のいのちの中に神のかたちが植えられ、主がいのちの息を吹き込まれた。生活の中に働きが起こった。この祈りを続けてすれば、やぐらが建つ。７旅程と道しるべは続けて祈りなさい。  3.力の運動だ。神様がみことばで働かれると、干からびた骨が生き返った。私たちのたましいとからだも、みな生かされる。それゆえ、イザ62章に、奪われたことをみな回復させると言われた。それゆえ、見張り人になって、大路を整えて、もろもろの民のために旗を揚げなければならない。  □結論\_創3、6、11章  △サタンがアダム、エバを倒し、ネフィリムを作った。力を合わせてバベルの塔を築くようにさせて戦争を起こした。  1.創3:15女の子孫であるJXがサタンの権威を打ち破る。  2.創6:14箱舟の中に入ってくれば生かされる。  3.創12:1-3 「カルデアのウルを離れて、わたしがあなたに示す地に行きなさい」契約的祝福、根源的祝福、代表的祝福、記念碑的祝福、不可抗力的祝福が出てきた。  △みことばを正確に握ることは、すべての事件をみことばの中で、神様が願われることを見ることだ。 | | □序論  1.暴風に遭った時代に握るべき契約  1)暴風に遭った時代  (1)当時、福音を悟れなかったイスラエル、ローマ属国、異端の汚名の初代教会  (2)今戦争、精神病者、ウイルス、経済混乱、教会の門を閉ざす時代  (3)未来AI、宇宙経済、非対面時代(霊的問題)  (4)さらに難しいことは、私、家庭、子ども、予期せぬ事故で希望がない状況  2)握るべき契約「恐れることはありません、パウロよ。あなたはカエサルの前に立ちます」  2.聖書にある暴風が来た理由と解答  1)長い間、目に見えない霊的状態  2)聖書にある大きな奥義  (1)エペ2:2空中の権威を持つ支配者に従う  (2)使1:3 40日間、御座の力を説明  3.長い間続いている霊的問題を根本的に解決する永遠のやぐらを建てなさい。  1)理由-使9:15、ロマ16:25地のことで解決できない霊的問題がわざわいであることを知って、福音を伝えるべき  2)神様が与えられる霊的やぐら、その力で問題と危機を訪ねて行きなさい。  (1)ダビデ　　(2)ヨセフ  □本論  1.御座の力が私のやぐらになるように祈り始める(使19:8)  1)使19:8神の国について3か月間、説明  2)オリーブ山でイエスがされたこと神の国のことを語られる(御座の力)  3)内容  (1)三位一体の神様の力があなたの中にやぐらとなるように  (2)過去、現在、未来を変えることができる力を待ちなさい。  (3)聖霊に満たされるようになること  (4)地の果てまで行く未来を見る力　(5)旅程と道しるべ  2.絶対やぐら-ローマも見なければならない(使19:21)  1)神様の契約を正確に握れば働き(使9:15、使23:11、27:24)  2)神殿建築24の契約(神様の力で私、教会、次世代、職業を変えて、世界福音化)  3.未来のやぐら準備-カエサルの前に立ちます(使27:24)  1) 70年イスラエル滅亡(A.D) 　　2) 250年間迫害  3) 313年キリスト教を国教として宣言  4)流浪の民生活(福音を持った者を通して世界変化)  □結論  1.人生を変える始まり-キリストが力を約束  1)3集中 目を開いて、寝る時、昼に  2)3セッティング すべてをプラットフォーム、見張り台、アンテナに  3)3答え 問題(答え)、困難(更新)、危機(道)  2.恐れることはありません、パウロよ。カエサルの前に立ちます。止めることができないわざわいが、使命者ひとりで解決  3.今週に挑戦すること、最も大変で重要な部分→永遠の祝福のやぐらに、24神殿建築祈り | | □序論\_長老は５つのモデルなるべき(毎日やればできる)  1.7・7・7刻印-根、体質= Authority、Tacit Power  目に見えない上から与えられる力でできる。  2.24-3集中=5力できる。この力が確かに感じられる時までが基準だ。目を開けば、無条件に安らかに呼吸して祈り、夜にはメッセージを整理してみことばで答えを見つけて、深い呼吸と深い祈り、昼には呼吸調節して、すべてを祈りに変えなさい。  3.25 - 3セッティング=光の経済  神様のことがプラットフォームなって、灯をともす見張り台になって、皆さんに会えば生命力が生かされるようになる(アンテナ)  4.永遠 - 3答え=足跡(実際的な作品が出てくる)  この力を持って問題を訪ねて行って、危機に会いに行く。  5.証人(絶対主権で皆さんを捕らえられる) -絶対計画、契約、旅程、目標=絶対答え  使13:1-4これが出てくる時まで動かなかった。  使16:6-10門が閉ざされれば、ものすごいターニングポイント  使19:1-7マルコの屋上の部屋に起こった力、そのとおり体験→使19:21ローマまで  △これをいつも味わうことが信仰生活。私たちは神様の導きを受けるために教会に来る  □本論  1.ロマ16:25すでに与えられたこと  1)創3:15、6:14、出3:18、イザ7:14、マタ16:16、使1:1-8女の子孫、箱舟を作りなさい。サタンに縛られた者を解放させなさい。血のいけにえ。キリストの奥義であるインマヌエルの名前を伝えなさい。あなたは生ける神の子キリストです。これをオリーブ山で説明した。  2)長老時刻表-時代ごとにわざわい止める重職者が出て来た。  3) RT時刻表-その後に、必ずレムナントが出て来る。  2.ロマ16:26今隠したこと  1)カル、オリ、マル(隠された力のやぐらを建てなさい)  2)超越-旅程(超越できる旅程の力を養いなさい)  3)暗闇x-道しるべ(暗闇を完全に砕く道しるべを建てなさい)  3.ロマ16:27未来に与えられる永遠のこと  1)ＡＤ70イスラエル滅亡、250年キリスト教迫害、313年キリスト教国教宣言  2)流浪の民時代-313年以降、ユダヤ人はさらに散らされるようになった。  3)今　(1)ローマ-237がいるため　(2)多民族-5000種族がいるため  (3) RT-237,5000種族まで入って行く実力がある。  □結論\_速度が重要  1.味わう-ヨセフが神様がともにおられることを味わう  2.待つ-ポティファル、看守、王など未信者が認める  3.挑戦-明らかな神様の計画が見えるときに挑戦 | |